



さわかく  
便り

ケガの功名

昨年の夏は猛暑で畑仕事に手が出ず、放置した草が伸び放題。先日の暖かい雨の朝、荒れ地を見に行くと大根や菜花が青々と大きくなっていった。植えたのでも播いたのでもなく、種が飛び自然発生したのでした。早速摘み取りお浸しにして春を食した。  
(名華女)

誰もが自分は普通で、常識的に正しいと思っている。私もそうだった。友人との会話の中で、ある人のことを「変わった人だ」とつぶやいたら「あなたも相当変わってる」と返ってきた。心に刺さり傷ついたのだが、自分の中の「正義感」を振り返るきっかけとなったのであった。  
(すみちゃん)

大学受験に失敗した。好まない大学への入学となったが、そこで出会った女性教授は、まさに私がなりたい女性だった。彼女は晩年、夫との海外旅行中に突然命を落としてしまったが、その生き方は私の人生に大きな影響を与えた。  
(しばP)

「男女共同参画」なんて言葉はなく、一定の年齢を過ぎると売れ残りといわれる時代。勢いと若気の至りで結婚した相手は、家事育児は女の仕事と想っている当時よく



No.49



### △ハモン博士のまとめ

「ケガの功名」とは、失敗したなど思ったことが、思いがけず良い結果をもたらすことじゃ。失敗なんてものは、日常生活に付きものじゃ。その失敗を悔んだり、反省するだけでなく、次への教訓として生かせば失敗も全て功名となる。この境地に辿り着いたのも数々の失敗を積み重ねた結果の「ケガの功名」じゃ。(笑)



問合せ先

おおくち男女共同参画懇話会(地域協働課)

☎ 95-1691

大学の卒業研究の際、半年かけた実験が佳境に差し掛かったころ、実験機器を、さっさと壊す大失態。慌てて修理し、再実験したら結果が全然違う…。古かったその機器はセンサーが狂っていたらしい。結果、ちゃんとしたデータが取れたのでした。  
(俺)

## Be Ambitious

vol.309

町内にお住まいの  
20代の皆さんがリレーで登場!

## 卒論のテーマは大口町!

保浦 楓さん(さつきヶ丘) H10・10・19生



まちや暮らしに興味

きっかけは、高校に入り町外の友人が出来て、初めて自分の町を意識した事です。

生まれ育った大口町を卒論のテーマに決め、さまざまなデータを収集しました。これから町内の方に話を伺っていき、大口町の未来について考察し仕上げていきます!

アルバイトはよい社会経験に

人生初めてのアルバイトはきしめん屋。人見知りの私に接客業は向いていないのではと親にも言われましたが、2年が経ち、今ではお客さんと言葉を交わすのも楽しめるように。以前はあまり人と関わらずに過ごしてきましたが、大学に入ってから交流の場が増え周囲と繋がっていくのが面白く、視野が広がりました!



▲得意分野を生かして  
新入生対象のPC講座で  
講師を務めています。